

授業科目	* 卒業研究 (林)				単位	4		
履 修	必修	関連資格			ナンバリング	TO31806J		
開講年次	4 年	開講時期	通年	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP1-3 DP2-1 DP3-1 DP4-1 DP5-1 DP5-2			
担当教員	林 裕二							
授業概要	学校でも職場でも、人は人とのつながりの中で生きています。私達は言葉や動作で意思を伝わせます。しかしながら、自然にうまくいく時と、なぜかしらうまくいかない時があります。そのようなコミュニケーションの問題は、スキルに関する側面と内容に関する側面があります。その両面を強化することを目的とします。世界初の観光映画ともいえる「ローマの休日」の脚本(英語)を、次に現代の日本で、英語圏から来た二人が東海道を西に進む多読図書「Walking the Tokaido」を読みます。授業は基本的に輪読・ディスカッションです。卒論につながるテーマを決めて、論文の基本を順序立てて学んでいきます。							
学生が達成すべき行動目標	問題意識を明確な課題へと発展させ、それについて系統的・科学的な研究ができる。研究の過程での中間報告を行いながら、卒業論文を仕上げることができ、それを発表することができる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	25	25	25	25	100	
知識・理解 (DP1-1)			12				12	
知識・理解 (DP1-2)				12			12	
知識・理解 (DP1-3)					12		12	
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			13				13	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)					13		13	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)				13			13	
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)					13		13	
技能・表現 (DP5-2)						12	12	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
論理的に筋道立てて考え、自分の言葉でわかりやすく、口頭および論文で述べる能力を習得できている。				論理的に筋道立てて考え、聞く人を想定しながら、自分の言葉でわかりやすく、口頭および論文で述べる能力を習得できている。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	1～30回のすべてのテーマ・講義内容については、第1回目の授業で担当者によって説明されます。							

2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				

27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	3年次までの演習・研究科目についての理解が、きちんとなされていること。			
テキスト	担当者により、説明がされます。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	1.知へのステップ 2.図書館の朝日新聞のデータベース/ JapanKnowledge / ブリタニカオンラインジャパン (学内のみで閲覧可) 3.担当者により説明されます。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	大学での学びの総決算です。社会にしっかりアンテナを張って、自分の関心があるものを常に意識するようにしていきましょう。そうすることで、卒業研究のテーマについて、深めることができるばかりでなく、社会に出て、生き方の指針となるような物差しを得ることができます。 提出した論文の案文、口頭発表などに対して与えられた教員やゼミ生からのコメントを踏まえ、さらに自ら必要な情報・データ・事例を収集し、文献を読み、考え、書いた論文を向上させる努力が求められます。情報収集、論考、意見の発信という卒論への取り組みは、4年間の勉			
達成度評価に関するコメント	社会人基礎力を十分身につけて、社会で活躍できるように学力、人間関係を円滑に運ぶことができる人間力を体得して、大学での学びの結びとなるようにしましょう。			